

危機管理施設の整備により河川流域の洪水被害を防止【埼玉県越谷市】

こしがやし

TPP等対策

3か年緊急対策

簡易な基盤整備

【対策のポイント】

おおとしふとねがわ

- 大落古利根川は市街地を流れており多くの住宅が隣接していることから、増水時には古利根堰のゲートを的確に開放し、**洪水を速やかに流下させることが必要。**
- このため、3か年緊急対策において、**監視カメラ等の危機管理施設を更新。**
- 令和3年7月の豪雨や令和3年10月の台風16号では、**更新・新設した危機管理施設が洪水被害の未然防止に貢献。**

【取組地域の概要】

○ 位置

こしがやし

・埼玉県越谷市ほか

埼玉県

ふるとねぎ
古利根堰地区



○ 主要作物

・水稻

危機管理施設の更新・新設を実施

- 3か年緊急対策により、**Webカメラの設置や非常用発電設備の嵩上げ等を実施。**

基
盤



非常用発電設備



監視カメラ

＜更新前＞

基
盤
整
備
(R2)



非常用発電設備

嵩上げ



監視カメラ

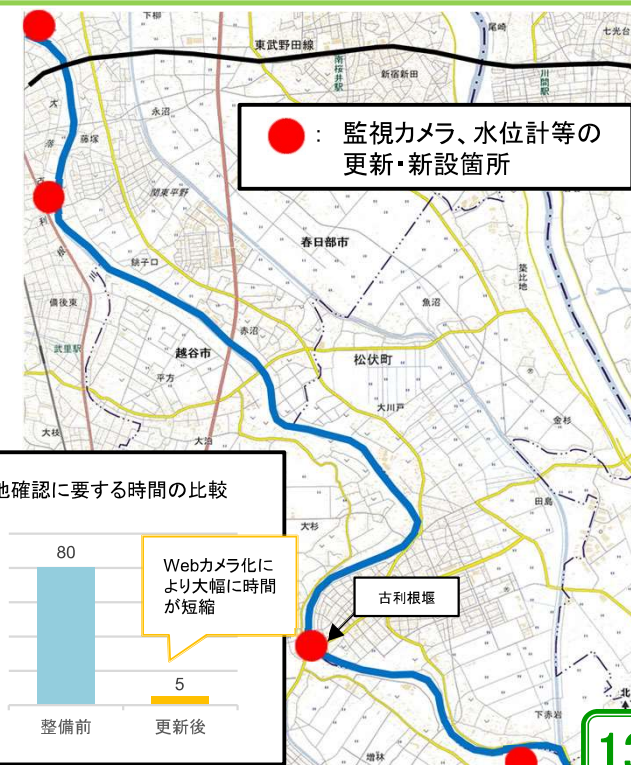
＜更新後＞

Webカメラに更新

3か年緊急対策により更新・新設した危機管理施設が流域の洪水被害の未然防止に寄与

対
策
の
効
果

- 令和3年10月1日の台風16号では**24時間雨量80～99mm**を記録。このほか、時間雨量20mm以上、24時間雨量80mm以上の**豪雨が頻発。**
- 従来は土地改良区職員が現地で水位調整の要否を判断していたが、Webカメラや水位計を設置したことにより、集中管理所や**スマホ等で河川の急激な水位上昇等の変化を把握**することが可能。
- また、遠方制御設備の整備により、**集中管理所からの堰の操作が可能。**
- さらに、非常用発電設備の嵩上げにより、**堰管理所が浸水した場合でも操作等のための電力を確保。**
- これらにより、**ゲリラ豪雨等の予測の困難な事態にも早急な対応が可能となり、流域の洪水被害の未然防止に貢献。**



現地確認に要する時間の比較

